



2020年度 地域医療介護総合確保基金（医療分）活用事業
2020年度 大分県中小規模病院等看護管理者支援研修

学び、高め合おう看護管理能力

日時：2020年10月24日（土）13：00～16：00

場所：大分県看護協会（〒870-0855 大分県大分市豊饒二丁目7番1号）

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、Zoomを使用し、会場参加者とオンライン参加者が同時に参加する研修となります。

総合司会：寺沢 操（看護協会副会長）

12：30～13：00 受付

13：00～13：05 挨拶 村嶋幸代（大分県立看護科学大学理事長・学長）
一丸淳司（大分県福祉保健部医療政策課長）

第Ⅰ部

テーマ 「(仮)大阪府の看護管理者ネットワークを通じた看護管理向上の取り組み」

※演者のご講演は録画により実施します。（会場およびオンラインで配信）

13：07～13：47 講演1：「南河内での看護管理者ネットワークの活動の経緯」

演者：医療法人 春秋会 城山病院 村井真由美 看護部長

13：50～14：30 講演2：「中小病院の看護管理者と地域研修受講者からの報告」

演者：医療法人 六三会 大阪さやま病院 立林 剛 看護部長

演者：医療法人 六三会 大阪さやま病院 山内雅之 副師長

座長：村嶋幸代（大分県立看護科学大学理事長・学長）

14：30～14：40 休憩（10分）

第Ⅱ部

テーマ 「(仮)大分県の看護管理を高める取り組みの現状と今後に向けて」

※演者のご講演は会場で実施します。（オンラインで配信）

14：40～15：55 発表・総合討論

演者：松行久美（千嶋病院看護部長）

演者：筒井久美（高田中央病院看護部長）

演者：小幡真琴（豊後高田訪問看護ステーションあゆみ所長）

演者：丸山たみえ（西田病院看護部長）

座長（大分）：司農ゆかり（長門記念病院看護部長・大分県看護管理者連絡協議会）

原田千鶴（大分大学教授）

座長（大阪）：志田京子（大阪府立大学教授）

※総合討論は、第1部と第2部の演者、会場参加者とオンライン参加者をZoomで繋いで討論します。

15：55～16：00 閉会挨拶 大戸朋子（大分県看護協会会長）

●お申し込み方法・メ切

- ・FAXをご利用の方は、裏面の参加申込書に必要事項を記載して、お申し込みください。
- ・E-mailをご利用の方は下記のアドレスに、①ご所属、②連絡先、③参加方法（来場、又は、オンラインのいずれか）を明記してお申し込みください。なお、本研修のオンラインは、インターネット会議システムZoomを使用予定です。Zoomの接続方法は、Zoom社HP等をご利用ください。

申込先：大分県立看護科学大学 FAX：097-586-4389 E-mail：n-management@oita-nhs.ac.jp

〈申込メ切〉

2020年

10月12日（月）

●研修参加者の定員について

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3密を避けた研修を予定しております。ご来場いただける参加者は、先着50名を予定しております。オンラインによる参加者は、先着80名となります。予めご了承ください。

●研修開催が中止となる場合のお知らせ方法と時期

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、やむを得ず、本年度の研修開催を中止する場合がございます。研修開催の中止に関するお知らせは、9月中旬以降に大分県看護協会、大分県立看護科学大学のホームページに掲載いたします。研修参加をご予定の方は、ホームページの情報にご留意ください。



大分県中小規模病院等看護管理者支援協議会

主催：大分県立看護科学大学、大分県看護協会、大分県
協力：大分県看護管理者連絡協議会、大分大学



大分県中小規模病院等看護管理者支援事業について

地域包括ケアシステムの構築が推進されるなか、看護管理者の活躍が益々期待されています。大分県では、厚生労働省の「中小規模病院看護管理支援事業ガイドライン」を参考に、大分県中小規模病院等看護管理者支援事業を始めました。本事業は、「看護の地域ネットワーク」を基盤に、病院や訪問看護ステーション、老人保健施設、老人福祉施設等、多様な事業所の看護管理者の皆様が取り組みを行っています。

2020年度の研修会では、「大阪府の看護管理者ネットワークを通じた看護管理向上の取り組み」をテーマに3名の看護管理者の皆様にご講演を頂くとともに、県内で本事業に取り組んでいる、看護管理者の皆様が、活動の現状、今後の展望等についてご発表されます。会場の皆様と一緒に、看護管理の将来展望と地域の発展について考える機会となることを願っております。

演者紹介

医療法人春秋会 城山病院（大阪府） 村井真由美 看護部長

1984年看護学生として、医療法人春秋会 城山病院に入職し、在籍36年、看護部長として現在に至る。10年間のスタッフ時代に結婚、出産、3人の育児をしながら病院勤務を継続した。1999年ICU師長となり看護部管理者として看護部運営を支え主に教育を担当した。クリティカルパスの導入、ラダー制度の導入を行う。2010年より新人看護師研修責任者として新人看護職員制度を確立させる。2013年看護部長代行、2014年看護部長に就任により看護部及び病院運営を担い、2016年急性期入院基本料1（7：1）へ引き上げ、2019年機能評価機構3rdG:ver2.0認定、2020年大阪府がん拠点病院認定に貢献する。また、2014年度より南河内管理者会の副会長として地域の新人教育担当を担い2018年より南河内管理者会会長に就任。2019年度大阪府看護協会認定看護管理者教育課程、サードレベル修了。

医療法人六三会 大阪さやま病院（大阪府） 立林 剛 看護部長

昭和54年に地元高校を卒業後、精神科病院に就職し看護補助職に就きながら和歌山精神科病院協会看護学校を卒業し約10年間病棟勤務に従事。大阪に転居後、他の精神科病院に従事し、平成20年に医療法人六三会大阪さやま病院に就職、約40年間精神科看護に携わる。以前から精神科病院は閉鎖的と言われ、当院は大阪精神科病院協会理事病院で協会内活動は実施していたが、一般科病院との交流は殆どない状況であった。看護部長就任を機に南河内看護管理者会に入会し、院内では困難な救命救急や新人から役職者までの研修会、自身も他病院の看護部長との情報交換や専門分野の認知症患者との関わり方の講演などで交流を図りながら、定期的な認知症患者家族会の開催や近畿大学医学部附属看護専門学校の非常勤講師、看護専門学校や大学の看護学部の実習病院としました。

山内雅之副師長も南河内看護管理者会主催の新人から役職者研修会に参加することで、精神科領域だけでなくフィジカルも見える看護師に成長し、看護副師長及び教育担当に至った経緯も併せて講演します。

参加申込書 FAX:097-586-4389

ご所属	お名前	ご連絡先	ご希望の参加方法に ○をつけてください
		TEL FAX E-mail	来場（ ） オンライン（ ）
		TEL FAX E-mail	来場（ ） オンライン（ ）
		TEL FAX E-mail	来場（ ） オンライン（ ）
		TEL FAX E-mail	来場（ ） オンライン（ ）

※オンライン参加をご希望の方は、E-mail を必ずご記入下さい。参加用の URL をメールでご連絡致します。

お問い合わせ 大分県立看護科学大学 TEL:097-586-4446 E-mail:n-management@oita-nhs.ac.jp